

13. センノキ (ハリギリ) (小川のセンノキ)



直径 127 cm



樹高 28 m

【解説】

現地は、多くの巨木が生育している「小川ブナ植物群落保護林」内にある。
この保護林には、センノキが大小散在して、かなりの個体が生育している。
葉の形を見ると大葉のカエデにも見えるが、ウコギ科の落葉広葉樹である。
材はケヤキと同様に環孔材であり木目が美しい。
新芽は、たらの芽と同じような形をしており、山菜として食用できないことはないが、あくが強いので、好き嫌いが分かれる。
この木の他にも同じ保護林内に巨木が多く点在しており、地表は腐植層も厚く、歩くと柔らかで土壌が肥沃であることを感じる。

【所在地】

北茨城市関本町小川字和尚山国有林1001い2林小班内
北緯36°56'17" 東経140°35'15" 付近